

公印省略

3 教体第 3 4 8 0 号

令和 4 年 3 月 2 8 日

各県立学校長 殿

教育庁教育振興部体育スポーツ健康課長

体育科授業における男女共習について

新学習指導要領では、中学校、高等学校において、豊かなスポーツライフの実現、継続に向けて、新たに共生の視点を踏まえた指導内容が示され、「体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず運動やスポーツを楽しむことができるよう男女共習を原則とすること」が明記されました。

そのため、令和 3 年度第 2 回県立高等学校等保健体育科主任会において、男女共習について協議したところ、安全面や評価方法に関する不安を感じている教員がいるなどの課題が見られたことから、別添のとおり資料を作成しました。

については、当該資料を貴校保健体育科教員へ配布いただき、男女共習の適切な実施の参考として御活用ください。

【本件担当】

教育庁教育振興部体育スポーツ健康課

体育・健康教育班 門司

TEL 092-643-3923

FAX 092-643-3926

# 体育科授業における男女共習について

## ～豊かなスポーツライフを継続するために～

👉 考えてみましょう 👉 「豊かなスポーツライフを継続できている人は・・・？」

一人一人のライフスタイルに応じて、運動やスポーツを楽しんでいます。そして、そこには、性別や年齢の違い、障がいの有無に関係なく、スポーツの多様な楽しみ方を実践している姿があります。

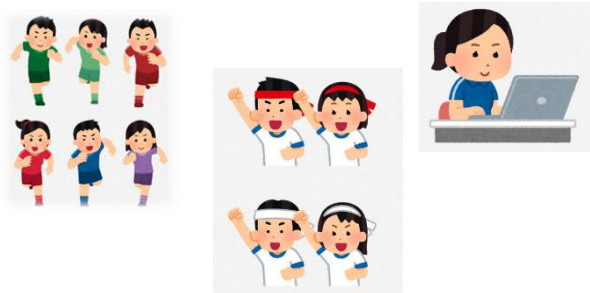
豊かなスポーツライフを継続するためには？

運動やスポーツの多様な楽しみ方を社会で実践することが求められている。

多様な楽しみ方とは？

- みんなでバレーボールをすること
- 一人でジョギングをすること
- 野球の試合を応援すること
- 大規模大会のボランティアをすること
- スポーツの歴史を調べること など

「する」  
「みる」  
「支える」  
「知る」



豊かなスポーツライフを継続していくためには、運動の技能を上げていくことのみならず、体力や技能の程度、性別や障害の有無、目的等の違いを越えて、運動やスポーツの多様な楽しみ方を社会で実践することが求められている。そのため、新たに共生の視点を踏まえて指導内容を示すこととした。【高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 保健体育編 体育編 P13】

豊かなスポーツライフを継続するためには、保健体育科学習の役割は重要です！

そこで、今回の学習指導要領にも明記され、豊かなスポーツライフを継続するために重要な「男女共習」について考えてみましょう！



### 男女共習について

先生方が抱えている課題	解決へのヒント	実施している学校の成果
安全面	ルールや用具の工夫はされていますか？	○生徒が自らルール等の工夫を提案していた。
評価	技能に偏った評価になっていませんか？	○主体的に活動していた。
技能が高い生徒が消化不良	高い技能だからこそいさせる活動はありませんか？	○良好な人間関係が見られた。
オフィシャルルールで試合ができない	オフィシャルルールを理解した上で、運動の特性（楽しさや魅力等）を味わえるゲームを考えることが大切ではないでしょうか？	○授業の雰囲気良くなった。
		○技能が高い生徒の動きを学んでいた。
		○教え合うことができていた。
		○選択の幅が広がった。 など

### 具体的には・・・ 球技のルール等の工夫例

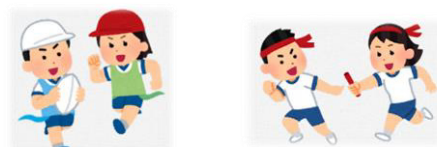
用具	ソフトボール・・・技能が高い生徒は飛ばないボール（やわらかいボール等）でも OK 卓球・・・ラケットの大きさを変えても OK バレーボール・・・柔らかいボールでも OK
場所・コート	バドミントン・・・コートの広さは技能に応じて変えても OK ハンドボール・・・技能が高い生徒が入れないエリアを作っても OK バレーボール・・・ネットの高さは、生徒の状況や目的に応じて変更して OK
ルール	バレーボール・・・技能に応じて、4回で返しても、1回キャッチしても OK テニス・・・車いすテニスのように2バウンドしても OK サッカー・・・オフサイドなし、キーパーなしでも OK 全ての種目・・・対戦相手との人数が違って OK、オフィシャルルールと違って OK
試合	技能別の日、男女混合の日、男女別の日、ローカルルールの日、相手と違うルールの日 OK (技能が高い生徒・チームは、ハンディルールもあり)

<キーワード>

「合意形成」

「ルールの工夫」

「みんな楽しく」



さあ、男女共習で授業を実施しましょう！

福岡県教育委員会